

平成20年度

学校法人東京音楽大学

事業報告書

第一 法人の概要

1. 設置する学校・学部・学科等

大学	大学院音楽研究科	声楽専攻 器楽専攻 作曲指揮専攻 音楽教育専攻	オペラ 独唱 鍵盤楽器 弦楽器 管楽器 打楽器 室内楽 作曲 指揮 音楽教育 音楽学 ソルフェージュ
	音楽学部音楽学科	声楽専攻 器楽専攻  弦楽器  管・打楽器  作曲指揮専攻  音楽教育専攻	声楽 声楽演奏家コース ピアノ ピアノ演奏家コース チェンバロ オルガン ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・ コントラバス・ハープ・クラシックギター フルート・オーボエ・クラリネット・ ファゴット・サクソフォーン・ホルン・ トランペット・トロンボーン・テューバ・ ユーフォニアム・打楽器 作曲／芸術音楽コース 作曲／映画放送音楽コース 作曲／ポピュラー・インストゥルメンツコース 指揮 応用音楽教育コース 実技専修コース

附属図書館

附属民族音楽研究所

附属高等学校 全日制課程音楽科 声楽専攻 器楽専攻 作曲専攻 音楽総合コース

附属幼稚園

附属音楽教室

2. 沿革

明治40年5月	東洋音楽学校設立（神田区）
大正13年	豊島区雑司が谷（現南池袋）に移転
昭和22年	財団法人東洋文化学園と改称
昭和24年3月	東洋高等学校（音楽科）開設
昭和25年2月	東洋幼稚園開設
昭和26年3月	学校法人東洋文化学園認可

昭和29年3月	東洋音楽短期大学設置認可
昭和38年2月	東洋音楽大学設置認可
昭和44年8月	名称変更認可 学校法人東洋文化学園を学校法人東京音楽大学に改称 東洋音楽大学を東京音楽大学に改称 東洋高等学校を東京音楽大学附属高等学校に改称 東洋幼稚園を東京音楽大学附属幼稚園に改称 東洋音楽学校を東京音楽学校に改称
昭和45年3月	東洋音楽短期大学廃止認可
昭和51年7月	東京音楽学校廃止認可
平成5年3月	東京音楽大学大学院音楽研究科修士課程設置認可

### 3. 教職員数

大学	専任教員	127名	兼任教員	279名	専任職員	65名
附属高校	専任教員	11名	兼任教員	38名	専任職員	3名
附属幼稚園	専任教員	6名	兼任教員	12名		
附属音楽教室			兼任教員	9名		

### 4. 入学定員、学生数

大学院 音楽研究科	入学定員	45名	在籍者数	100名
音楽学部音楽学科	入学定員	310名	在籍者数	1598名
附属高等学校音楽科	入学定員	75名	在籍者数	236名
附属幼稚園			在園者数	127名
附属音楽教室			在室者数	97名

(平成20年5月1日現在)

### 5. 学校法人役員等

#### 役員

理事長	鈴木 勝利	理事(学長)	海野 義雄
理事	津嘉山(成田) 繪智子	野本 正平	永山 義高 佐々木 正峰
	佐々木 亮	高祖 敏明	原山 耕造
監事	吉田 恭治	保倉 裕	

#### 諸機関の長

東京音楽大学長	海野 義雄
大学院音楽研究科長	海野 義雄
附属図書館長	坂崎 則子
附属民族音楽研究所長	池辺 晋一郎
附属高等学校長	野本 正平
附属幼稚園長	坂本 紀男
附属音楽教室長	三浦 捷子

(平成21年3月31日現在)

## 第二．事業の概要

### 総括

本学では、平成19年に創立100周年を迎えましたが、100周年記念事業の一環として、平成21年3月21日から4月5日の間、ミュンヘン、プラハ、バンベルク、ウィーンにおきましてシンフォニーオーケストラによるヨーロッパチャリティコンサートを行い、それぞれ満員の聴衆のもとで大成功を収めました。

また、本学は平成20年度、財団法人日本高等教育評価機構による第三者評価（大学機関別認証評価）を受審し、平成21年3月、大学評価基準を満たしていると認定されました。その結果を踏まえて本学は、社会的責任を果たすことが求められていることを自覚し、教育力向上のため自らを見つめなおし、さらに発展するため努力してまいります。

## 第三 項目別概要

### 1. コスト削減・省エネルギーの推進

本学では地球温暖化対策、環境問題への関心を高め、音楽を通じて社会貢献できるよう努めていきたいと考えています。

11月3日の芸術祭では、100周年記念ホールにおいて、小池百合子衆議院議員（元環境大臣）から環境問題について講演してもらい、前述のヨーロッパ演奏旅行に際しては、排出されるCO<sup>2</sup>をオフセットするため、ブラジル、小水力発電所の排出権を購入し、温室効果ガス排出削減に貢献したところ。学内では、B・C・図書館において、従来、重油焚き・冷凍機による全館集中冷暖房を実施してきましたが、老朽化、ランニングコストの増大、CO<sup>2</sup>排出規制、冷暖切り替え時の休止期間、南・北側の温度差等多数の問題点があったことから、一般教室及び大型レッスン室では、グループ分けしたガスヒートポンプ方式のエアコン、B館5階～11階小レッスン室については、各室個別のエアコンによる空調工事を施しました。このことにより、大幅なランニングコスト削減はもとより、季節を問わず空調運転が可能となり、中間期窓を開けることがなく、騒音による近隣からの苦情も減少すると思われま。

### 2 . 警備・防災センターの立ち上げ準備

予てから、準備していた主に施設課職員による、警備組織立ち上げも最終段階となり、平成21年4月より運用を開始します。

### 3 . 広報

大学広報誌「東京音大ジャーナル」を5月、7月、12月の年3回発行（33,000冊×3）し、また新聞、音楽関連雑誌、演奏会及びフェスティバル等のプログラムへの大学案内広告の他に、大学の宣伝媒体の一つとして、一年を通して学内の情報提供（主に演奏会）ができ実際に活用できる「東京音大カレンダー」を作成（33,000冊）し関係方面に配布しました。

シンフォニーオーケストラによる鎌倉、浜松チャリティ演奏会及びヨーロッパでのチャリティ演奏会の情報を周知させるため、ちらしポスター、プログラムをそれぞれ作成し、新聞に広告を掲載する等して広く案内しました。

### 4 . 受験講習会の開催

## 夏期受験講習会

講習期間：平成20年7月26日(土)～30日(水) <大学、高校とも>

## 冬期受験講習会

期間：<大学受講>平成20年12月25日(木)～29日(月)

<高校受講>平成20年12月23日(祝)～27日(土)

## 5. 大学部門

### (1) 入学試験

①大学入試センター試験。平成21年1月17日～18日 目白大学と共同実施。受験者数：500名

②附属高校からの推薦入学 合格者： 65名

③一般入学者選抜試験

試験期間：2月16日から20日まで。 合格者： 397名

④<声楽・器楽>特別選抜試験

試験期間：3月22・23・24日。 合格者： 14名

### (2) 自己点検・評価および認証評価

本学は、平成16年度から7年以内に認証評価を受けることが義務化されたことを受けて、平成19年10月～平成21年3月の期間において財団法人日本高等教育評価機構による認証評価を受審しました。平成20年6月30日自己評価報告書を提出し、同年10月6～8日の実地調査を経て、平成21年3月24日付けで同機構の定める大学評価基準を満たしていると認定されました。

自己点検評価委員会開催

第1回 7月24日(木) 15:00～ J館208教室

第2回 4月22日(水) 16:00～ K館4階会議室

### (3) カリキュラムに関する改正

(平成20年度) 後期月曜日の授業回数の調整……9月11日教授会承認

平成21年度授業回数、補講日の決定……11月5日教授会承認

9月卒業に関する内規の確認および公表……12月1日教授会承認

成績の保証人への通知決定(2年次生から卒業年次生全員、平成21年5月)……12月1日教授会承認

平成21年度教職科目「教職実践演習」の新設、「総合演習」の廃止……平成21年2月5日教授会承認

### (4) 私立大学等経常費補助金

①2008年度私立大学等経常費補助金 26,618.2万円

②平成20年度特別補助交付内示額は 3,751.2万円

③上記特別補助のうち採択制の【教育・学習方法等改善支援】の項目は次のとおり。

(a) 学生による音楽情報発信を目的とした学内イントラネットの構築

PC教室 20～22年度

(b) 多様なキャリアを目指した、音楽教育専攻学生のための音楽文化を中心とした教養教育カリキュラム

- |   |         |
|---|---------|
| 学内での中心となる分野：音楽教育                              | 19～21年度 |
| (c) 舞台総合芸術オペラの実践による表現技術訓練と人格の形成               |         |
| 学内での中心となる分野：オペラ                               | 19～21年度 |
| (d) 習熟度別、関心分野別及び専攻別の全学的ソルフェージュ教育による音楽的基礎能力の開発 |         |
| 学内での中心となる分野：ソルフェージュ                           | 19～21年度 |
| (e) ヨーロッパ音楽を幅広く文学・歴史的側面から把握するための外国語教育の試み      |         |
| 学内での中心となる分野：外国語                               | 19～21年度 |
| (f) データ・コラボレーション・ワークフローによる作曲教育環境の構築           |         |
| 学内での中心となる分野：作曲(映画・放送音楽)                       | 18～20年度 |
| (g) マルチメディア環境における音楽創作支援の研究と実習                 |         |
| 学内での中心となる分野：作曲(芸術音楽)                          | 18～20年度 |
| (h) ピアノ演奏・室内楽・ピアノ指導のための実践的講座                  |         |
| 学内での中心となる分野：器楽(ピアノ)他                          | 18～20年度 |
| (i) 管弦楽・吹奏楽の集団指導法を身に付けた教員の養成                  |         |
| 学内での中心となる分野：教職課程管弦楽・吹奏楽                       | 18～20年度 |
| (j) 合奏を通じた共同作業による、将来音楽で生活できる能力の開発             |         |
| 学内での中心となる分野：器楽(弦・管・打楽器)他                      | 17～20年度 |

(5) ACTプロジェクト(発足4年目)

①ACTプロジェクトが現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G P)に選定されたことに係る補助で補助対象となった3年間合計で1005.3万円の交付を受けました。

ACTプロジェクトの学習内容が単位化され、平成20年度入学生から「音楽キャリア実習Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)として各カリキュラムの中の専門選択科目として履修できることになり、13名が単位を修得しました。

②音楽系三大学G P合同フォーラム「音楽の新しい学び」フォーラム

11月23日(日) 14:00～18:00 参加者148名

共催：神戸女学院大学、昭和音楽大学、東京音楽大学

後援：(社)日本オーケストラ連盟、(社)日本クラシック音楽事業協会、豊島区

場所：本学A館200教室(パネルディスカッション)、同2階ロビー(ポスターセッション)、学食(交流会) 三大学の学生が各自の音楽アウトリーチの取組等を発表し交流しました。また音楽系大学における教育の新しい方向性について広く関係者ととも検討しました。

来賓・パネリスト

文科省高等教育局 大学改革推進室長 今泉柔剛氏

文科省 // 大学改革推進室課長補佐 古田和之氏

ピアニスト 仲道郁代氏

日本オーケストラ連盟・前事務局長 出口修平氏

③例年どおりメンバー学生が4チームに分かれ、実体験活動を行いました。

・ホールコンサート・チーム

本学学生の出演する下記の演奏会を、このチームの学生が企画・制作・運営しました。

レインボウ21 サントリーホール デビューコンサート 2008

「情熱と郷愁のスペイン音楽」

6月19日(木)19:00開演 サントリーホール ブルーローズ

採択制になってから本学が唯一毎回出演(7回連続)。

- ・ Jロビーコンサート・チーム  
東敦子メモリアル・シリーズとして、J館ロビーで通算第46回から第52回までの7回のサロンコンサートを行い、毎回、近隣住民や大学関係者等が鑑賞しました。
- ・ エリアコンサート・チーム  
近隣施設からの依頼による訪問コンサートを中心に年間14回のコンサートを行いました。  
地下鉄副都心線「雑司が谷駅」開業記念イベントとして、雑司が谷地域文化創造館でのコンサートも行いました。
- ・ サイバー・チーム  
音楽系三大学G P合同フォーラムの広報ページ作成  
Jロビーコンサートや他の演奏会の告知
- ・ 本学助手による「演奏会企画ゼミナール」を5回行いました。  
日時： 6/30月、7/14月、9/13土、9/24水、12/12金 講師： 浅井 啓太
- ④キャリア教育に係る教職員研修（通算第3回）
  - ・ 本学教職員10名で、キャリア教育について情報交換 宿泊地： ホテルサンルート京都  
日時： 2月28日（土）～3月1日（日）
  - ・ 大学コンソーシアム京都主催「第13回 FDフォーラム」に参加  
日時： 2月28日（土）13:00～19:00、3月1日（日）10:00～15:00  
会場： 龍谷大学 深草キャンパス  
テーマ： 「学生が身につけるべき力とは何か 一個性ある学士課程教育の創造」

## （6）文部科学省科学研究費補助金（科研費）

### ①平成20年度科研費の執行について

基盤研究（C）2件（新規1、継続1件）のほか、今年度初めて、他大学の研究代表者の研究分担者として3件、合計5件となり、直接経費 135万円、間接経費 40.5万円 計175.5万円の交付を受けました。

### ②科研費の応募について

10月30日（木）翌平成21年度科研費に応募  
本学から非常勤講師1名を含む計2名が応募しました。  
全て基盤研究（C）で、うち1件が採択されました。

## （7）演奏会関係

### ①ヨーロッパ演奏旅行

平成5年より滞っていたオーケストラによる海外演奏旅行を、チャリティ公演として実施しました。

平成21年3月21日出発 4月5日帰国

ミュンヘン－ヘラクレス・ザール	3月24日（火）19:00	（満員）
プラハ－スメタナ・ホール	3月27日（金）19:30	（満員）
バンベルク－ヨゼフ・カイルベルト・ザール	3月30日（月）19:00	（満員）
ウィーン－楽友協会・大ホール	4月3日（金）19:00	（満員）

### ②大学主催演奏会

- (a) 卒業演奏会 4月19日（土）18:30 トッパンホール 入場者数 442名
- (b) 室内楽定期演奏会

- ・ソロ・室内楽学内演奏会 5月14日(水) 16:00 100周年記念ホール 入場者数 212名
- ソ ロ部門 5月16日(金) 18:30 トップアンホール 入場者数 273名
- 室内楽部門 5月23日(金) 18:30 トップアンホール 入場者数 248名
- (c)シンフォニックウインドアンサンブル 特別・定期演奏会 【指揮】 汐澤安彦
  - 7月8日(火) 18:30 特別/千葉県文化会館 入場者数 1,015名
  - 7月11日(金) 18:30 定期/東京芸術劇場 入場者数 1,802名
- (d)弦楽アンサンブル演奏会 10月23日(木) 19:00 トップアンホール 入場者数 222名
  - 【指導・コンサートマスター】 景山誠治
- (e)シンフォニーオーケストラ演奏会
  - ・定期演奏会 11月28日(金) 19:00 東京芸術劇場 入場者数 1,640名
  - ・ユニセフチャリティ演奏会
    - 鎌倉芸術館 11月23日(日) 15:00 入場者数 1,215名
    - アクトシティ浜松中ホール 11月24日(月) 14:00 入場者数 1,031名

### ③その他の演奏会

- (a)ロイヤル・アカデミー及びギルドホールとの交歓演奏会
  - 7月2日(水) 18:00 100周年記念ホール
  - サントリーホール主催で行われる「レインボウ21」の一環として今年からスタートした「レインボウ・インターナショナル」ではロイヤル・アカデミーとギルド・ホール及び本学との交歓演奏会がA館ホールで行われ、特にアンコールとして3校の混合メンバーによる小品の演奏もあり、練習を含めて学生達には良い経験になりました。
- (b)ピアノ演奏家コース生による演奏会 7月8日(火) トップアンホール
- (c)土曜コンサート
 

演奏の機会を増やして欲しいという学生達の希望に基づいて、平成20年度から新たに「土曜コンサート」が始まりました。企画から集客、実施までを全て学生が自分達で行う演奏会で、希望する土曜日の16時からA館200教室で開催されます。企画書・要項は150部以上出たのですが、実際に行われたのは3公演でした。応募が少なかった理由は、全てが準備された演奏会には出演したいが、自分達でやらなければいけないのなら遠慮するということのようにです。しかし、実際に演奏会を行った学生からはその点も含めて、良い経験になったと言う感想が出ています。

### ④外部からの出演依頼による演奏会

- (a)読売新人演奏会
  - 5月3日(土) 11:00/17:00 ・4日(日) 11:00 東京文化会館大ホール
- (b)レインボウ21 サントリーホール デビューコンサート 9月19日(木) 19:00
  - サントリー小ホール
- (c)日本フィルハーモニー交響楽団 合唱共演「第九」(12月)
  - ・平成20年12月18日(木) 19:00 東京芸術劇場 指揮 : 小林研一郎
  - ・平成20年12月20日(土) 18:00 横浜みなとみらいホール 指揮 : 小林研一郎
  - ・平成20年12月24日(水) 19:00 横浜みなとみらいホール 指揮 : 沼尻竜典
- (d)EUユース管弦楽団 合唱共演 「マーラー : 交響曲第2番 復活」
  - 8月24日(日) 15:00 神奈川県民ホール 指揮 : ウラディーミル・アシュケナージ
- (e)東京メトロ メトロポリス・クラシックス 合唱共演「エルガー : 威風堂々など」

11月12日(水) 19時 東京芸術劇場 指揮：小泉和裕

(f)JTアフタヌーンコンサート JTアートホール アフィニス

- ・平成20年5月26日(月) 12:20～12:50
- ・平成20年7月25日(金) 12:20～12:50
- ・平成20年12月3日(水) 12:20～12:50

(g)東敦子メモリアル・シリーズ J館ロビーコンサート

- ・第46回 HORN 6月4日(水) 12時～12時40分
- ・第47回 動物の謝肉祭～サン＝サーンスと愉快的仲間たち～ 7月9日(水) 12時～12時40分
- ・第48回 Felix Trio ―フェリックス・トリオ― 10月29日(水) 12時～12時40分
- ・第49回 秋の贈り物 ～トリオ・アンサンブルにのせて～ 11月14日(金) 12時～12時40分
- ・第50回 ピアノ・デュオで紡ぐフランスの音色 12月19日(火) 12時～12時40分
- ・第51回 音で綴るおとぎの世界 ～ぞうのババーのお話～ 平成21年1月16日(金)
- ・第52回 ラブソング ～愛の贈り物～ 平成21年2月14日(土) 12時～12時40分

(h)豊島区庁舎ロビーコンサート

豊島区からの依頼により、地域貢献の一環として実施。各回第3水曜日12時15分～12時45分  
年間5回

- ・第139回 ホルン・カルテット
- ・第141回 打楽器トリオ
- ・第142回 ピアノ連弾
- ・第144回 ファゴット・カルテット

(i)ピアノ教員によるコンサート9月19日(金) 17:00 100周年記念ホール

(j)オーケストラ合宿(9月6日～9日、山梨県富士河口湖町)

## (8)東京音楽大学コンクール

- ① 声楽部門 予選(11月7日(金)) 33名出演 本選(11月12日(水)) 5名入選
- ② ピアノ部門 予選(11月10日(月)) 27名出演 本選(11月18日(火)) 5名入選

## (9)招聘者による公開レッスン

演奏者による実技レッスンばかりでなく、オーケストラメンバーによる指揮のレッスンなど、いろいろな角度からの内容を可能な範囲で実施。(別紙参照)

## (10)教職課程

### ①教育実習

実習生数：253名

実習校：中学校 120名 高等学校 133名(中高一貫校含む)

### ②教員免許状

教員免許状申請数 534件

内訳：中学校教諭一種免許状 220件 高等学校教諭一種免許状 252件  
中学校教諭専修免許状 29件 高等学校教諭専修免許状 33件

### ③介護等体験

(a) 介護等体験生数

社会福祉施設での体験生数：210名

特別支援学校（盲・ろう・養護学校）での体験生数：215名

(b) 体験期間

社会福祉施設：平成20年8月～平成21年3月の間で5日間

特別支援学校：平成20年6月～平成21年3月の間で2日間

(11) 国際交流

① 短期留学

- ・モーツァルトウム国際サマー・アカデミー

10名枠のところ10名(声楽2名、ピアノ2名、ヴァイオリン3名、フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名)が参加しました。講習会後に行われたコンクールで、この受講生の中から上位入賞者が2名(東京音楽コンクール、ピアノ部門1位、日本管打楽器コンクール、オーボエ部門3位)が出ました。

② 海外音楽大学との交流

- ・ハノーファー音楽・演劇大学

提携校であるハノーファー音楽・演劇大学からピアノ専攻の交換留学生在が来日し、約1ヵ月半滞在しました。この間ピアノのレッスンだけでなく邦楽のレッスンを見学、受講、また本学学生と「土曜コンサート」に出演するなど、色々な経験を得ました。

- ・シベリウス・アカデミー

ヘルシンキのシベリウス・アカデミーと学生・教員の相互派遣、共同プロジェクトの実施等を目的とする協定締結

③ ヨーロッパの音楽大学学長他が来訪、懇談

主に東ヨーロッパの音楽大学学長、主任教授

④ ロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージック

同音楽大学より、オーディションのため本学施設使用、11月、A館200教室

⑤ Hong Kong Design Institut (香港) による本学見学

(12) 学生支援

① 学生相談室の充実

平成20年5月より月1回、『新宿みなみクリニック』の精神科医、濱田正恵医師を学生相談室に招聘し、相談体制が整ってきました。

② 学生委員会

[平成20年度開催日] 4月15日, 5月20日, 6月24日, 7月15日,  
9月16日, 10月21日, 12月2日, 1月27日

・毎年4月に3年生に対して学生委員(教員)との面接を実施し、学生の生の声を聞いて対応しました。

③ 奨学金委員会

[平成20年度開催日] 6月5日, 11月27日, 2月13日,

・平成20年度大学特待奨学生(甲種4名/乙種29名)・大学院特待奨学生(乙種6名)、平成21年度高校給費入学奨学生(乙種3名)を選考しました。

#### ④コンクール入賞者

・平成20年度のコンクール等入賞の報告件数は111件（内、25件は卒業生）でした。

### (13) キャリア支援

音楽専門分野におけるキャリア教育と共に、社会人として必要なキャリアの形成についてその支援が求められています。キャリア支援室が実施した行事等は次の通りです。

#### ①「夏期ピアノ特別セミナー」開催

8月25日～27日の3日間で開催され、全国から151名が参加（卒業生110名）。本学教授陣による個人レッスン（44名受講）をはじめ、公開講座・公開レッスン・演奏会等多彩な内容で行いました。また、世界的ピアニストのアシュケナーズ氏が登場し、演奏した学生に直接コメントをプレゼントするという場面もありました。なお、平成21年度「夏期特別セミナー」は声楽を予定しています（8月24・25日を予定）。

#### ②社会人（養成）特別セミナー「社会人特別講義」「就職講座」

「社会人特別講義」は音楽教育専攻の必修科目ですが、講義の趣旨・目標としてキャリアアップ、職業観の涵養等も掲げているところから、キャリア支援室の参加も一部実現しました。キャリア支援室独自では、より職業選択・就職実現に添うテーマで年間6回の就職講座等を実施しました。

#### ③「学生サポートデスク」の環境整備

学生のニーズを再度掘り起こし、本格的運用を目指します。

#### ④JASSO（日本学生支援機構）奨学金業務

#### ⑤「就職関連情報管理運用システム」の導入 — データの管理・運用 — 企業・求人情報、学生及び卒業生の属性などを管理します。

#### ⑥大学ホームページの利用

トップページに「キャリア支援：人材をお探しの方へ」のボタンを追加し、学外からの要望や情報ができるだけ滑らかに到達するよう整備しました。また、求人検索サイト「UniCareerLite」と提携し、本学向け（本学を含む大学向け）に送信された求人情報が在学生のページから閲覧できるようになりました。現在、求人件数は約1,200件。

#### ⑦後援会によるキャリアアップ支援制度

学生や院生の知識・技能・感性の向上、教養面の充実についての支援制度です。平成20年度「後援会からのキャリア支援室への支援費」は1,110,966円でした（学外講座受講料補助、資格試験受験料補助、セミナー講師派遣料、SPI模擬試験ほか）。前年度支援費は506,845円。

### (14) 地域連携

#### ①としまコミュニティ大学講座開講

##### (a) 課題発見プログラム I

平成20年7月17日（木）15：00～17：00 Bスタジオ

「からだ楽器」～みんなで楽しむ打楽器アンサンブル～

講師：菅原 淳（東京音楽大学准教授）

##### (b) 課題発見プログラム II

平成20年10月2日（木）18：00～20：00 B500教室

「今日からあなたも歌手になる！」

～イタリア・ドイツの名曲を歌う（ボイストレーニングを交えて）～

\* サンタ・ルチア(イタリア民謡) / 楽に寄す(ドイツリート)

講師：高橋 啓三(東京音楽大学教授)

(c) 課題追求プログラム [連続5回講座]

オペラ「ドン・ジョヴァンニ」の魅力満載講座 ～学んで・歌って・観て・感動!!～

・～モーツァルトってどんな人?～

平成20年12月8日(月) 18:00～20:00 A200 教室

講師：坂崎 則子(東京音楽大学教授)

・～演出が変わればオペラも変わる!～

平成20年12月15日(月) 18:00～20:00 A200 教室

講師：今井 伸昭(東京音楽大学非常勤講師)

・～「ドン・ジョヴァンニ」の Aria を歌ってみよう～

平成21年 1月26日(月) 18:00～20:00 A200 教室

講師：高橋 啓三(東京音楽大学教授)

・～オペラの練習風景をのぞいてみよう(稽古場見学)～

平成21年2月2日(月) 18:00～20:00 A200 教室

講師：高橋 啓三(東京音楽大学教授)

・～オペラを観よう! 「ドン・ジョヴァンニ」～

平成21年2月9日(月) 17:00 100周年記念ホール

出演：東京音楽大学大学院生、他

② 南池袋小学校コンサート(みないけコンサート)

12月14日(日) 13:30 J館スタジオ

南池袋小学校PTA行事としてコンサート開催を計画し、本学シンフォニックウインドアンサンブル有志が演奏。

③ 交流学习

本学に隣接する南池袋小学校からの依頼により、交流学习として平成17年より実施。

6年生の教科「総合的な学習の時間」に本学学生が参加し、生徒が情景を音で表現するなかで、生徒のグループにサポーターとして入り、生徒の発想やイメージを引き出す支援をするものです。

④ 副都心線「雑司が谷駅」開業祝賀イベント

主催：地下鉄副都心線「雑司が谷駅」開業記念祝賀実行委員会

会場：東京音楽大学Jスタジオ 6月15日(日)

⑤ 雑司が谷の歴史散歩&コンサート東京音楽大学Jスタジオ 10月4日

主催：豊島法人会

演奏：東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル

(15) 大学院

平成20年度大学院オペラ研究発表

「秘密の結婚」 平成20年10月10日(金) 100周年記念ホール

「夕鶴」「みづち」 平成21年2月8日(日) 100周年記念ホール

「ドン・ジョヴァンニ」 平成21年2月9日(月) 100周年記念ホール

全て原語上演

6. 付属図書館

(1) 全般 (詳細は資料を参照)

資料貸出の延滞に対する督促作業の効率的な作業により、大幅に延滞資料が減りました。

(2) 一年間の資料受入数(購入・寄贈を含む)

楽譜543点、和書277点、洋書189点、録音・映像資料781点となり、18年度比で約645点の減となっています。雑誌は185タイトルの受け入れです。除籍数は合計577点となっています。

(3) 情報サービス

ブック・ディテクション・システムを導入し、資料紛失の防止に努めています。

他館との相互協力を進め、料金相殺制度に参加しました。

(4) 研究紀要

研究紀要第31集を発行し、国公立大学、国公立図書館、他 計295機関に発送しました。

## 7. 付属高等学校

昨今の少子化現象に加えて、20年度後半から日本を襲った世界的経済不況の影響も受け、付属高校の21年度に向けた生徒募集の状況も厳しいものがありました。何とか前年度よりやや少ない受験者数を得ることができたのは幸いでした。、今後は更に生徒数確保の面では厳しくなっていくものと思われ、いろいろと対策を講じていく必要がありますが、何よりも先ずは、教育内容充実のために、更に一層の努力をしていくことが大切と考えています。

### (1) 年間行事

①交歓演奏会 (6月7日/100周年記念ホール)

他の音楽高校の代表生徒を招待し、互いの演奏を鑑賞し、交流を目的としています。

昨年度は、参加校が国立音楽大学附属高校・東京芸術大学音楽学部附属音楽高校・桐朋女子高校・都立芸術高校の4校でした。

②ハワイ大学語学研修旅行30周年記念演奏会 (7月11日/ホノルル・マッキンレイ高校ホール)

恒例のハワイ語学研修旅行が、スタート以来30回目を迎え、それを記念してホノルル・マッキンレイ高校ホールにおいて、本校オーケストラによる記念特別コンサートを実施し、日系人の方々を初め多数の来場者を得て成功裏に終わりました。

③ハワイ大学語学研修旅行 (2年生/7月6日~14日/ハワイ大学)

第2学年71名の参加で無事実施しました。

④1年次校外教室 (7月15日~17日)

この数年、福島県・ブリティッシュヒルズにおいて実施しており、昨年度も団体生活を通じて、英語圏の文化に触れると同時に、お互いが親交を深めることを目的に実施しました。

⑤オペラ発表会 (10月25日/Jスタジオ)

声楽演習授業の発表の場として実施しています。昨年度はこのオペラ発表会25周年を記念して小編成のオーケストラとともに「魔笛」を上演し、好評を博しました。

⑥チャリティーコンサート (11月18日/東京芸術劇場)

毎年、売上の一部をユニセフへ寄付することを目的に実施しています。今回も前回同様、会場がほぼ一杯になるほどの入場者を得て、盛況裏に終わり、100万円を寄付することができました。

⑦アンサンブル演奏会 (12月20日/100周年記念ホール)

昨年度も、オーケストラ・室内楽・吹奏楽・合唱などの演奏を、授業成果の発表の場として実施しました。

⑧春季運動会（体育祭）（3月10日／東京武道館）

本来予定していた体育祭が、予備日も含めていずれも雨天のため中止となり、生徒からの強い要望により、敢えて今年度は上記体育館を借りて実施しました。結果的には、場所、使用条件等が良く、大変順調に実施できたため、今後は、天候に左右されない当体育館での開催を前向きに検討することにしました。

⑨卒業演奏会（3月14日／100周年記念ホール）

3年実技優秀者6名が出演しました。

⑩文化祭（音羽祭）を実施しました。

（2）受験講習会

夏期受験講習会（7月26日～30日／大学校舎）

参加者141名で実施しました。

冬期受験講習会（12月23日～27日／大学校舎）

参加者139名で実施しました。

（3）入学試験

平成21年度付属高校推薦入学試験（平成21年1月22日 発表23日）

出願者21名（合格者7名）

平成21年度付属高校一般入学試験（平成21年2月11・12日 発表13日）

出願者106名（合格者84名 辞退者数10名 繰り上げ合格者1名）

8．付属幼稚園

（1）平成20年度入園児数は、前年度より更に減少し、今後もこの傾向は続くと思われま

す。少子化、不況、進学に対する保護者の考えの変化など色々考えられますが、その大きな原因と思われる本園の高額な音楽・英語の授業料を大幅に減額しました。又、複数就学児の減額、児童部レッスン料の引き下げも行いました。この結果、保護者には大きなインパクトを与え、本園に対し、好意的な変化も見られ、宣伝効果も得られました。

ピッコロランドは今年度も好調で、平成21年度は月一回から二回に増やすことにしました。しかし参加者の本園入園児のパーセントを更に増やす工夫が必要と思われま

（2）平成20年度入園考査報告

3年保育応募数	43 名	入園者	30 名
---------	------	-----	------

2年保育応募数	8 名	入園者	5 名
---------	-----	-----	-----

9．付属音楽教室

4歳児～中学3年生を対象に、充実した教育活動を展開しています。

レッスンでは生徒一人一人の能力や適性を見極めて指導を行い、ソルフェージュ授業においては、音感教育に加えて音楽理論の指導も重視し、総合的な音楽性を育てています。

在室生徒数、学外・学内演奏会の来場数ともに年々増加しており、幅広いレベルの生徒が在籍しています。

その中で、試験や演奏会を実施することにより、教室全体の更なる向上を目指しています。

また、付属幼稚園から付属高等学校への橋渡し役の第一歩として、付属幼稚園からの入室生徒のきめ細かい指導にあたり、優秀な生徒を大学へと繋げていくよう配慮しています。

さらに、外部の優秀な生徒の獲得を目的として、平成21年度から新たに「ピアノオープンシステムコース」を開設すべく、内容の検討と募集の準備を行いました。

#### (1) 平成20年度の演奏会

- ①7月20日 学外演奏会（トッパンホール）
- ②11月15日 学内演奏会（本学100周年記念ホール）

### 10. 付属民族音楽研究所

民族音楽研究所では、アイヌ音楽・ガムラン音楽など主にアジア地域における民族音楽の研究を続けています。社会人講座、公開講座などを実施、研究活動の一層の充実を図りました。

#### (1) 社会人講座

- ①平成20年4月～平成21年2月（全36回） 講師：佐藤まり子

「ガムラン音楽教室」（演奏コース・舞踊コース）

受講者数：演奏コース33名 舞踊コース19名

平成20年度ガムラン音楽教室発表会

平成21年2月28日（土）J館スタジオ 来場者：250名

- ②平成20年5月～7月「08春期 民族楽器入門講座」

6講座実施 5回～6回の短期講座 受講者数：69名

- ・「のどうたと口琴講座」（全6回） 講師：直川礼緒
- ・「ジェンベ入門講座」（全5回） 講師：若林忠宏
- ・「タブラ入門講座」（全5回） 講師：若林忠宏
- ・「ダラブカ入門講座」（全5回） 講師：若林忠宏
- ・「トンコリ入門講座」（全6回） 講師：千葉伸彦
- ・「リズム・エヴォケーション講座（全6回） 講師：有賀誠門

- ③平成20年10月～12月「08秋期 民族楽器入門講座」

6講座実施 5～6回の短期講座 受講者数：52名

- ・「ジェンベ入門講座」（全5回） 講師：若林忠宏
- ・「タブラ入門講座」（全5回） 講師：若林忠宏
- ・「インドの歌を歌おう!!」（全5回） 講師：若林忠宏
- ・「トンコリ入門講座」（全6回） 講師：千葉伸彦
- ・「リズム・エヴォケーション講座（全6回） 講師：有賀誠門
- ・「のどうたと口琴講座」（全6回） 講師：直川礼緒

- (2) ガムラン演奏コース授業（金曜1限・2限） 受講生：14名履修

11月1日芸術祭にてコンサート開催

出演者：履修学生、アネカ・サリ（ガムラン社会人同好会） 来場者：80名

- (3) 公開講座

## 第1回国際口琴フェスティバルin東京part 2 “花”

平成21年3月27日(金)・28日(土) 二日間にわたり実施

### 内容

- ・口琴製作ワークショップ(27日、28日) 会場:民族音楽研究所三階  
講師:目次伯光(27日)、小島隆二(28日) 定員:各10名
- ・発表1(27日) 講師:直川礼緒、山下正美、小島めぐみ、関根秀樹
- ・映画(27日)
- ・レクチャーコンサート/ワークショップ1(27日)  
講師:竹原シャルマ、カリマン ウメトバエウ
- ・レクチャーコンサート/ワークショップ2(28日)  
講師:千葉伸彦、床 絵美、田口史人、伊福部 達  
いずれもA館A100教室にて開催  
27日の来場者 90名(学生・一般含む)  
28日の来場者120名(学生・一般含む)
- ・コンサート(28日17:15開演) 会場:J館スタジオ 来場者:220名  
出演者:床絵美、恵原詩乃、千葉伸彦、甲田潤(作品発表)、小尾淳子、入野智恵、竹原シャルマ、直川礼緒、遠藤雅夫(作品発表)、カリマン ウメトバエウ、石阪由美子、志賀杏子

### (4) 協力研究業績

アジア民族文化学会第16回秋季大会シンポジウム発表のための研究協力

2008年10月25日 共立女子大学本館にて開催

発表者:専修大学大学院文学研究科博士後期課程 飯島 奨氏

協力者:佐藤まり子

協力内容:「中国陝西省紫陽県漢族の歌の音数律～掛け合い形式の歌を中心に～」における原注調査の音源より採譜の支援を行いました。

### (5) 特別講義

船橋市葛飾中学 「総合的な学習の時間」での訪問学習

日時:平成21年1月23日(金) 10:30～12:00 民族音楽研究所3階

担当講師:佐藤まり子専任講師

受講者:船橋市葛飾中学一年生 11名

## 11. 財務報告

別冊計算書類によります。

以上